

プログラム例

産婦人科医メイン（産婦人科専門医と麻酔科標榜医を目指す）

1 年目 4 月～産婦人科後期研修トレーニング開始

（同時に標榜医取得のため週 1、全身麻酔の挿管実習）

1 年目 10 月～約 6 ヶ月麻酔科研修（150-200 例程度の全身麻酔経験を目指す）

2 年目 4 月～産婦人科医として勤務しつつ、最低週 1 の麻酔研修継続

（全身麻酔が 300 例を超えたところで標榜医申請）

3 年目の 3 月までに産婦人科専門医プログラム・その後周産期専門医プログラムへ

4 年目に産婦人科専門医受験

※産婦人科専門医プログラムは、必要症例をカバーしつつ、その中に関連他科研修

（麻酔科や新生児科）を組み込むプログラムも可能なため、標榜医を同時取得が可能。

産婦人科医志望で麻酔もやりたい場合に現時点で最も現実的なプログラム。

麻酔科メイン（麻酔科専門医を目指す）

1 年目 4 月～麻酔科専門医プログラム開始

1 年目 10 月頃～産婦人科研修（週 2）を平行（分娩管理・帝王切開執刀）

3 年目 4 月以降 麻酔科標榜医申請

4 年目 麻酔科専門医試験

※麻酔科は専門医プログラム上、『週 3 以上麻酔科常勤として同一施設勤務』が義務となるため、産婦人科研修を週 2 までしか組み込めない。また、産婦人科専門医取得には、改めて産婦人科専門医プログラムにのる必要があるが、麻酔科専門医は週 3 以上麻酔をしていないと維持できないため、取得は困難と思った方がよい。

麻酔科医メインとして産科麻酔をサブスペシャリティーにしたい人向け（実際に分娩管理や帝王切開執刀もしたい人向け）だが、産婦人科の方は公的に取れる資格はないのが難点。

※本気で両方の専門医を目指す場合

専門医機構の基本プログラム2つを取得するのが今後のシステム上どうなるかは不明

ですが、、、現時点で可能な範囲で考えると、、、

1年目4月 産婦人科専門医プログラム開始

3年目3月まで産婦人科専門医プログラム終了、4年目で専門医試験

その後麻酔科プログラム開始（週2までは産婦人科として活動可能でその中で専門医を維持する症例経験を継続・また周産期専門医研修も考慮）

最短で8年程度かけて両方の専門医を取得